

令和7年度 東京都立府中高等学校 学校経営報告

1 令和7年度の取り組みと自己評価

令和7年度は、「向上進取の精神と高い志の涵養」を目指して、前年度から継続して「学校の組織的な教育力の強化」を最重要課題とした。まずは事前調整を始めとした計画的な業務進行管理を行い、業務の効率化を進め、企画調整会議の時間を短縮した。また、徹底した情報共有を図り、様々な情報を各分掌及び学年の全教職員で共有した。しかし、情報共有だけでなくライフ・ワーク・バランスの観点からも、来年度以降に検討すべき課題は残っている。

令和6年度12月に新校舎の引き渡しが行われたことによって、今年度は年度当初から新校舎で教育活動を開始することができた。特に新校舎での樺松祭文化部門の開催は初めてで、生活指導部担当者を中心に様々な調整をしながら準備を進め、無事に開催することができた。非常に多くの来校者を受け入れることができ、生徒の様子や文化祭の催し物だけではなく、新校舎を見ていただくことができた。来校者のアンケートでは満足度の高さが伺えた。ただ、グラウンド等は、今年度3学期によく工事に着工したところであるため、樺松祭体育部門も外部屋内施設を借りて実施した。記録を見ても本校初の外部施設での体育祭となったが、屋内施設であったために熱中症対策は万全を期すことができた。ただし、特にテニス部・ハンドボール部など屋外の部活動にとっては校外で活動せざるを得ない状況であるため、活動場所の確保は来年度も課題となる。

進学指導研究校としては、模試分析会や進路検討会(個別ケース会議)を充実させ、分析結果を各教科内で共有し、授業や定期考査に反映させた。3年生の進路実績として、国公立大学については、一橋大学・東京都立大学・東京学芸大学などに6名合格した。早慶上理には5名合格、GMARCHには昨年度の28名を大きく上回る50名が合格した。1・2年生に関しては来年度以降も継続して教科指導及び進路指導に取り組む。

本校の教育活動について、中学生及びその保護者の理解を深めるために、総務部を中心に募集対策・広報活動に注力した。出前授業や中学校訪問はもちろんのこと、外部説明会への参加を増やすなど、校内外を問わず中学生及びその保護者に丁寧に説明・対応した結果、中学生の本校への関心が高まり、入学者選抜の応募倍率が上がった。来年度以降は、部活動の活動の様子や大会実績を定期的に更新するなど、ホームページ更新回数を増やすことによって、さらに広報活動の充実を図る。

2 令和7年度取り組み目標・方策の評価について

生徒の進路実現に向けた質の高い授業を中心とした教育活動により、生徒に社会人として必要な学力・能力を身に付けさせるとともに、行事や部活動などの様々な体験を通して生徒の集団への帰属意識を養い、クラスメイトや部活の仲間を中心とした友人との様々な経験を重ねさせることで自尊感情を高めさせ、生徒の進路実現を目指す教育活動を展開した。生徒の進路実現については、生徒が目指す進路に対する高い目標に挑戦するよう、学年と進路指導部が中心となって粘り強く指導を重ねた結果、大きな成果を上げた。ただ多くの生徒が成果を上げた一方で、目標に届かなかった生徒も多かった。次年度以降、一人でも多くの生徒の進路目標を達成すべく、模試の分析等を十分に行い、本校の進路指導の在り方を見極めて課題として取り組んでいく。

3 令和7年度の取り組み目標・方策に関する評価

標語の意味 【A】:達成 【B】:おおむね達成 【C】:達成に至らず 【D】:未実施

教育活動の目標と方策	重点目標と方策（数値目標）	評価
(1) 学校経営について		
①生徒の進路実現に向けた教育活動を実践し、教職員一丸となって学校の課題解決に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための校内研修年3回以上 ・全教職員による相互授業観察一人3回以上 	<p>【A】 模試分析会や入試研究など</p> <p>【B】 おおむね達成</p>
②自律経営推進予算の適正な予算計画及び効果的な執行に努める。また、教員と経営企画室との連携強化を図り、学校運営への経営参画の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般需用費の予算執行率95%以上 ・一般需用費の支援センター利用可能な内容についての執行率90%以上 ・学校徴収金の未納率0% 	<p>【A】 ほぼ100%</p> <p>【A】 98.6%</p> <p>【A】 完納</p>
③生徒に安全・安心な教育環境を提供するために校内美化に努めるとともに必要な施設改修等について東京都教育委員会と協議し、整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設備の不備による生徒の事故0件 ・校内美化にかかわる活動年3回以上 ・防災・減災意識を高める活動年2回以上 	<p>【A】 達成</p> <p>【A】 達成 3回+2回</p> <p>【A】 達成</p>
④業務の効率化によるライフ・ワーク・バランスを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議・委員会等を60分未満で実施 	<p>【A】 達成</p>
⑤新学習指導要領に対応した教育課程と本校のグランドデザインを基に、スクールミッションとスクールポリシーに沿った教育活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程における評価方法等の授業研究を含む校内研修を年3回以上 ・保護者との面談：年1回以上 	<p>【C】 未達成</p> <p>【A】 達成</p>
(2) 学習指導・進路指導について		
①教科会を中心とした教科マネジメントを確立させるとともに、生徒の希望進路に必要な学力を確実に定着させる主体的で深い学びを追求した高品質の授業を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・同一学年同一教科の定期考査問題共通化 ・生徒の主体的な学習を授業に取り入れる教員：80%以上 ・生徒の授業満足度：75%以上 ・大学入試問題の分析：年3学部以上 	<p>【B】 おおむね達成</p> <p>【B】</p> <p>【A】</p> <p>【C】 未達成</p>
②3年間を見通した本校のキャリア教育に沿った系統的な進路実現計画に基づく進路指導を組織的な連携のもとに推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・難関私立大学進学希望者：各学年50%以上 ・保護者対象進路説明会：年1回以上 ・進路決定率：95% ・進路指導に対する生徒の満足度：80%以上 	<p>【B】 2年生 43.4% 1年生 57.9%</p> <p>【A】 達成</p> <p>【B】 91% (3/16 時点)</p> <p>【A】 87%</p>
③進学指導研究校として、進路指導部主導の模試分析会や進路検討会をさらに推進し、より効果的な生徒への還元を努め、生徒の進路実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科単位の模試分析会を継続 ・土曜日を含む学期中及び長期休業中における「立志塾」の戦略的な年間講座数：80講座以上 	<p>【B】 おおむね達成</p> <p>【B】 おおむね達成</p>

(3) 生活指導について		
①全教職員が指導方針や指導方法を共通理解するとともに、一丸となって生徒の自己規律を遵守する力を高め、社会人としての基本的なルールやマナーを身に付け実践できる生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導に対する生徒肯定的回答：70%以上 生徒の肯定評価割合：80%以上 特別指導による退学生徒：0名 	【A】 87% 【A】 89% 【A】 達成
②学校行事や各種集会・HR活動などあらゆる場面を活用し、挨拶の励行や時間遵守等規則正しい生活習慣や規範意識を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒年間総遅刻回数：4000回以下 チャイム着席の徹底：100% 文化祭・体育祭・合唱祭などの学校行事の質を高め、達成感や充実感を豊かにする。 	【C】 年間総数 5213回 【B】 おおむね達成 【A】 達成
③いじめの未然防止や体罰等の根絶、若者の自殺防止に日常的に組織的に取り組み、早期発見・早期対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒対象のいじめ調査：年3回以上実施 生徒対象の体罰調査：年2回以上実施 いじめ防止及び自殺防止に向けた学校の取組みに対する生徒の肯定的評価：80%以上 教員対象体罰調査：年1回以上実施 サービス事故防止研修：学期に2回以上 	【A】 達成 【A】 達成 【A】 86% 【A】 【B】 おおむね達成
④保護者・地域関係者等と連携し、栄養・運動・休養の三原則を基に、生徒の健康の保持増進と体力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援、教育相談に関する会議：月1回以上 SCだよりの発行：学期に1回以上 生徒の体力向上を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする態度の育成 	【B】 おおむね達成 【A】 年間3回 【B】 おおむね達成
(4) 特別活動について		
①特別活動や部活動などを生徒が主体的に協働する場となるように努め、情操を豊かにするとともに生徒に望ましい帰属意識をもたせ、自尊感情の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭、文化祭に積極的に参加したと考える生徒の割合：90%以上 生徒会の主体の行事：年2回以上 各学年生徒主体の行事：年1回以上 	【A】 達成 【A】 達成 【A】 達成
②行事や部活動などを通して、目標に向かって準備し、練習するといった一連の実践により生徒の総合的な人間力の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> 一年生の部活動加入率：80%以上 複数の高校もしくは生徒が参加する大会に生徒を参加させた部活動の割合：100% 	【A】 加入率100% 【B】 おおむね達成
(5) 募集・広報活動について		
①全教職員による広報活動を通して、地域社会や地域の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、本校に進学を希望する生徒の募集増を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 学校のHP更新回数：200回以上 普通科の入試倍率：推薦3.0倍以上、学力一次1.3倍以上 中学校からの学校訪問の積極的な受け入れや中学校での説明会への意欲的参加：年10回以上 	【B】 更新回数144回 【B】 推薦2.54倍 学力1.52倍 【A】 達成

(6) 組織体制の充実について		
① 服務事故を防止するために校内研修等の事故防止に向けた取組を確実に行う。	・ 体罰や個人情報漏洩などの服務事故案件の発生：0 件 ・ 服務事故防止研修：年 3 回以上実施 ・ 校内体罰防止調査：年 2 回以上実施	【A】 達成 【A】 達成 【A】 達成
② 教育系職員と行政系職員の報告・連絡・相談を円滑に進める。	・ 各分掌や各学年と経営企画室連絡会：年 2 回以上 ・ 部活動予算に基づいた執行率：100% 執行	【B】 おおむね達成 【A】 達成
③ 計画的な仕事の進行管理により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりの適切なライフ・ワーク・バランスの実現を図る。	・ 全教職員年休取得：10 日以上 ・ 教職員の勤務時間外校内滞在時間前年比較： マイナス 10 分	【A】 達成 【A】 達成
④ 企画調整会議の機能を強化し、学校経営方針の理解浸透を図るとともに各分掌からの意見聴取などにより全教職員の経営参画を推進する。	・ 担当者間の事前打ち合わせなどにより企画調整会議の充実と効率化：60 分未満に短縮実施	【A】 達成
⑤ 生徒のオンライン学習及び校内 ICT 環境整備と充実のために、生徒のタブレット活用に関する方針や方策について検討し、体制構築を図る。	・ ICT 等を活用した授業に取り組む教員：100% ・ オンライン学習及びタブレット活用に向けた教科主任を含む ICT 研修：月 1 回以上	【B】 おおむね達成 【B】 おおむね達成

令和 7 年度の数値目標		R7 目標	R7 実績	R6/R5/R4
①	国公立大学現役合格者数	10 名以上	6 名	6 名/5 名/4 名
②	上位難関私立大学（早慶上理）現役合格者数	5 名以上	5 名	0 名/1 名/4 名
③	難関私立大学（GMARCH 等）現役合格者数	30 名以上	50 名	18 名/27 名/21 名
④	日東駒専現役合格者数	90 名以上	84 名	80 名/77 名/83 名
⑤	大学入学共通テスト 受験者数	180 名以上	206 名	196 名/150 名/154 名
⑥	大学入学共通テスト 全国平均得点上回り率	1.00 以上	0.94	0.92/0.98/0.88
⑦	全国模試 3 教科・科目平均偏差値（第 1 学年）	50 以上	47.8	48.5/48.0/46.7
⑧	全国模試 3 教科・科目平均偏差値（第 2 学年）	50 以上	46.2	48.8/47.1/46.8
⑨	入学選抜中学進学対策志望倍率	1.85 以上	1.6	1.16/1.66/1.82